

ふれあい vol. 105

社協は社会福祉協議会の略称です。

ボランティアグループ 交流会

ボランティア活動として取り組んでいる高齢者への給食サービスについての意見交換と交流を兼ねて、宇陀市のボランティアグループ「笑みの会」、「二輪草」の皆さんと五條市の「牧野会」の皆さんが、牧野公民館で交流会を実施しました。



平成25年度 「五條市社協会員」募集中

- ◆個人会員 500円（年額一口）
- ◆賛助会員 5,000円（年額一口）

社協では地域福祉活動の財源のひとつとして、「住民会員制度」を設けています。社協活動に賛同してくださる方のご理解とご協力をお願いいたします。

※自治会加入世帯につきましては、毎年自治会を通じて個人会員にご加入をいただいております。

- 平成25年度社協事業計画・予算
- 地区社協紹介
- 地域福祉活動計画策定に向けて
- 赤い羽根地域支えあい助成事業 募集
- 災害支援情報 vol.7
- 五條市善意銀行から寄贈しました
- 社協職員募集

この広報紙は赤い羽根共同募金助成金・福祉基金・善意の日募金配分金の一部を使用して作成しています。

I 基本方針

少子高齢化の進行や生活様式の変化に伴い、地域社会や家庭の様相は大きく変容し、さらに長引く経済不況もあいまって経済的困窮、ひきこもり、虐待やいじめ問題、社会的孤立などの深刻な生活問題が広がっています。これらの問題に対応するため、厚生労働省・社会保障審議会では、本人の主体性と多様性を重視し、早期対応・早期脱却と貧困の連鎖の防止を図るとともに、国民の信頼に応えた生活保護制度を構築するため「生活支援戦略」をまとめました。

これを受け、全国社会福祉協議会・地域福祉推進委員会は、「社協・生活支援活動強化方針」を策定、福祉のまちづくりをすすめることを使命に、今日的な地域課題・生活課題を受け止め、その解決に向けた具体的な取り組みを図っていくことを求めています。

本会としては、この方針をもとに「みんながしあわせに暮らせるまちづくりをみんなですすすめます」の経営理念のもと、「人と人の絆」「住民どうしのつながり」「地域の福祉力」を高め、各種の事務事業をとおして課題の解決を図っていきます。特に今年度から2力年の予定で、住民と協働して取り組む地域福祉推進のための行動計画である“地域福祉活動計画”の策定をすすめ、地域住民の支え合いと制度・施策の横断化を構築し活動を展開していきます。

また、台風12号による災害の復旧・復興はすすんできていますが、安心して自立した生活を継続していけるために行政との連携による生活支援体制の整備に努めていきます。

介護保険法や障害者総合支援法による福祉サービスについては、日常生活圏域において「医療・介護・予防・住まい・生活支援サービス」を切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の基盤強化に主眼がおかれた内容になっています。この中で社会福祉協議会としての役割を再認識し、効果的・効率的な経営をめざします。

II 本会経営理念

「みんながしあわせに暮らせるまちづくりを みんなですすすめます」

III 事業実施計画

社会福祉活動の振興

- (1) 広報啓発活動
- (2) 地区社会福祉協議会の基盤強化と活動支援
- (3) 各種調査活動、福祉課題の把握
- (4) ボランティアの発掘、育成、助長
- (5) 福祉教育の振興
- ※(6) 小地域ネットワーク事業の推進
- ※(7) 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の推進
- (8) 台風12号災害支援継続活動
- (9) 在宅福祉サービスの充実強化
- (10) 生活福祉資金貸付償還事業
- (11) 社会福祉関係団体への協力援助
- (12) 共同募金事業
- (13) 各種団体等の運営
- (14) 奈良県社会福祉協議会への運営協力と連携協働
- (15) その他必要と認める事業



※用語解説

小地域ネットワーク事業

福祉委員やボランティア協力員などの参加により、地域住民のお困りごとに対して、早期発見・援助ができるよう地域にネットワークを構築する事業。

日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方に、金銭管理、書類の預かりや福祉サービス利用のお手伝いなど、日常生活を支援する事業。

居宅介護事業(障害者総合支援法)の経営

- (1)障害者へのホームヘルプサービス

介護保険事業(介護保険法)の経営

- (1)高齢者へのホームヘルプサービス
(2)介護サービス計画(ケアプラン)の作成
(3)要介護認定調査の受託
(4)サービス向上の取り組み

会の運営と組織基盤の確立強化

- (1)理事会、評議員会等の開催
(2)経営改善計画の実行
(3)住民会員制度の加入促進
安定充実した各種財源の確保と運用
(4)苦情処理に関する規程の設置
(5)職場内研修の推進と職員資質の向上
※(6)地域福祉活動計画の策定

※用語解説

地域福祉活動計画

社協、住民、NPO、ボランティア等が、どう主体的に地域福祉にかかわり、どのような活動を行っていくべきかをまとめた民間計画。

生活管理指導員派遣事業

日常生活の適正な管理・指導・支援が必要な高齢者等へのホームヘルプサービスを行う事業。

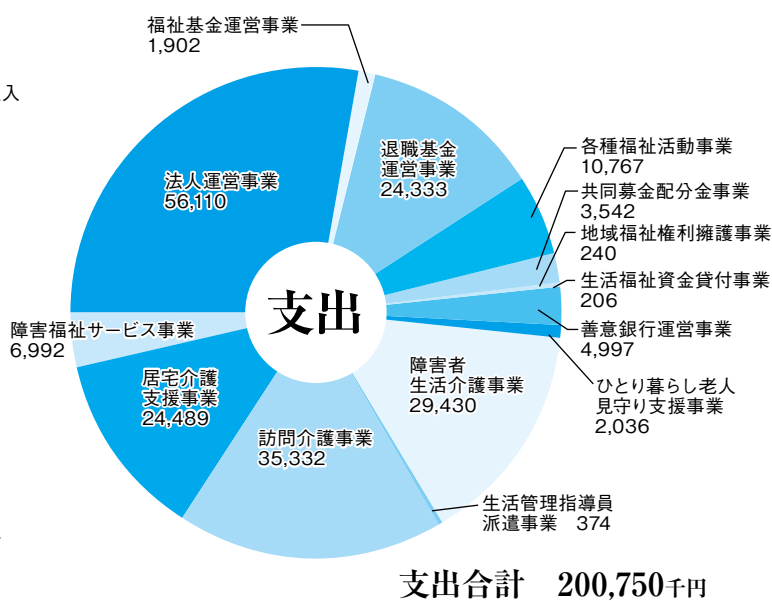
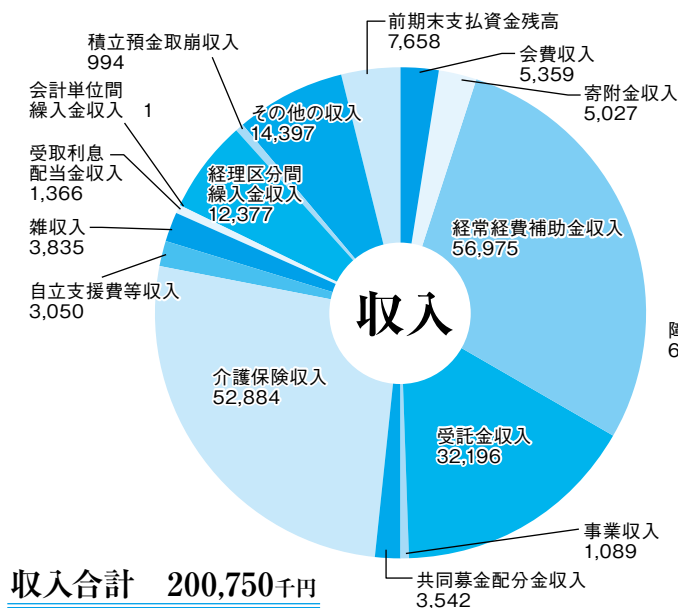
受託事業の運営

- (1)在宅老人配食サービス事業
(2)障害者生活介護事業(デイサービス)
※(3)生活管理指導員派遣事業
(4)五條市立福祉センター指定管理者運営

…一般会計予算…

(単位：千円)

さまざまな福祉活動をするための予算です。



…特別会計予算…

五條市立福祉センターの管理運営をするための予算です。

収入(市受託金収入) 3,182千円

支出(事業費支出) 3,182千円

あなたのそばで 活躍する地区社協を紹介します!!

みなさんは、五條市の15地区にある「地区社会福祉協議会」（略して「地区社協」）という組織を知っていますか。

地区社協は「住民同士の支えあい」を広げるため、身近な地域でさまざまな福祉活動をしています。地域で活動している地区社協を順次紹介していきます。

二見地区社協

【どのような地域ですか？】

- ◎人 口：2,524人
- ◎世 帯 数：1,090世帯
- ◎自治会数：17自治会
- ◎高齢化率：30.86%
(人口に占める65歳以上の割合)



生多 享司 会長

【どのようなことをしていますか？】

- ◎主 な 活 動：敬老会、高齢者への給食サービス、各種募金への協力など
- ◎活動の特徴：昭和50年に五條市で最初に誕生したのが二見地区社協で、以来五條市の地区社協の先駆けとして、先人の尽力によりさまざまな福祉活動を継続し取り組んでいます。



敬老会の様子

特に、毎年行っている敬老会は約270人もの参加者が集うほどの大盛況で、役員や地域の方々との協力しながら会を盛り上げています。

地区社協ってなあに？

＜住民主体の自主組織です＞

地区社協は、自治会、民生児童委員、地域団体、ボランティア団体など、地域の福祉関係者の参加を得ながら、地域住民の方が中心となり組織されています。

＜身近な地域で福祉活動をしています＞

福祉を行政だけに頼るのではなく、「住民同士のつながりによる支えあい活動」を広げるため、身近な地域で福祉活動をボランティアで行っています。

地域のつながりの及ぶ範囲となるよう、五條市では自治連合会単位をエリアとして、地区社協が組織されています。



地域福祉活動計画

策定に向けて

五條市社会福祉協議会では、住民主体による地域福祉活動の推進を計画的に行うため、社協や住民の具体的な活動を示した地域福祉活動計画（5カ年計画）を策定することになりました。

策定にあたっては、住民の皆さまとともに地域の福祉課題を発見・共有し、その解決策を考えていくために、アンケート調査の実施や地域別住民懇談会の開催を予定しておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。



なぜ地域福祉活動計画が必要なのか

今、私たちの多くが心配ごとや不安などを抱えて地域で生活しています。そのようななか、地域で安心して暮らし続けるためには、公的制度やサービスの充実はもちろんですが、ご近所同士の助け合い（地域の福祉力）がとても大切です。

その「地域の福祉力」の向上のため、社協や住民が取り組むべき具体的な地域福祉活動の道筋を示した羅針盤となるのが、地域福祉活動計画です。

計画の目的

- ① 住んでよかったといえる福祉のまちづくり
- ② 住民主体による地域福祉活動の推進
- ③ 住民、ボランティア、福祉関係機関、行政等によるネットワークづくり
- ④ 社会福祉協議会の組織基盤の強化と経営改善

平成25年度

赤い羽根地域支えあい助成事業 募集

奈良県共同募金会 五條支会は、地域の福祉活動が進展することを目的に、さまざまな分野において柔軟で多様な活動を行う団体を支援するため、下記のとおり助成をおこないます。

受付期間	平成25年6月3日（月）～平成25年6月28日（金）
対象事業	平成25年度に五條市内で実施する事業で、健康づくり、子育て、教育、まちづくり、防災、防犯等の先駆的・開拓的な活動、ならびに住民参加の福祉のまちづくりにつながる活動であること。 ※対象外事業 地区社協等の活動で社協補助金対象事業 営利を目的とした事業
助成金額	事業にかかる経費の5分の4以内で10万円を限度とする。
応募方法	所定の助成申請用紙に必要事項を記入のうえご提出下さい。助成申請用紙は、下記事務局へご請求いただくか、ホームページから入手可能です。
助成の決定	共同募金会配分委員会で審査のうえ、決定します。 (申請した方すべてが助成を受けられる訳ではありませんのでご了承下さい)

申込・問合せ先

社会福祉法人 奈良県共同募金会五條支会

〒637-0043 五條市新町3丁目3-2 福祉センター内 TEL 24-4152 FAX 24-4153

台風12号災害支援情報 vol.7

おおとう元気会議

2月28日に開催された「地域で暮らし続けるための仕組みづくり地域検討会議」では、大塔町住民を対象に行ったアンケート調査結果をもとに地域住民と関係者・団体・機関による、高齢者の見守り・住民の居場所づくりについての話し合いが行われました。

会議では、郵便配達員による声かけ見守り活動への協力が提案され、また、サロン活動や地域の特産品の販売など、住民が集える居場所づくりの必要性についても話し合われました。

今後、この会議の名称を「おおとう元気会議」として定期的に話し合いがもたれます。

4月26日の会議では、地域住民への買い物ツアーや週2日程度の配食サービス実施の検討、消防署による防火・防災への住民聞き取り訪問など、各関係機関による支援方法が話し合われました。

旧山古志村現地視察

3月18日・19日に、おおとう元気会議メンバーが、被災地における生活支援の取り組みを学び大塔地域で活かすことを目的に、新潟県長岡市山古志へ現地視察に行ってきました。

「山古志に帰ろう」を合言葉に、安心して暮らし続ける「常住のむらづくり」を目指して、住民主体による実施計画を策定し、それを実行することにより住民意識が高まり、防災・福祉・景観・環境問題に継続的に取り組まれています。



五條市善意銀行から寄贈をしました

五條市善意銀行にいただいた皆さまからのご寄付の一部を払い出し、こども達のために役立てていただくとうと、五條市内の保育所・園、幼稚園に図書を、児童養護施設「社会福祉法人嚶鳴（ようめい）学院」に文具一式を寄贈させていただきました。



寄贈した本を読む子ども達の様子



文具寄贈の様子

社会福祉法人五條市社会福祉協議会 職 員 募 集

1 募集職種・採用予定人員

職 種	事務職員 募集人員 1名
職 務 内 容	一般事務職
必要資格等	・社会福祉士の資格を有する者 ・社会福祉士の受験資格取得者 ・平成26年3月に受験資格取得見込みの者。

2 採用条件等

- 1) 昭和61年4月2日以降に生まれた人で、上記必要資格を有する者
- 2) 普通自動車免許取得者

3 採用期日 平成26年4月1日採用予定

4 選考方法

一般教養試験・専門試験及び面接

第一次試験（一般教養・専門）

平成25年9月22日（日）

第二次試験（面接）

平成25年10月26日（土）

5 応募方法

1) 提出書類

履歴書、資格を有する書類、写真2枚と印鑑

2) 募集期間

平成25年7月16日（火）から8月16日（金）まで

午前9時から午後5時（土・日・祝日除く）
※試験案内・申込書は、7月1日から直接または郵送により入手可能です。

※試験案内は五條市社会福祉協議会ホームページにも掲載しています。

3) 提出・問合せ

※郵送による応募受付はいたしません。

社会福祉法人五條市社会福祉協議会事務局
社会福祉法人五條市社会福祉協議会職員採用試験委員会

〒637-0043五條市新町3丁目3-2

☎0747-24-4152

ホームページ

<http://www.shakyo.or.jp/hp/1250/>

詳しくは、上記事務局にお問い合わせ下さい。

手話初級講習会 参加者募集

手話でおしゃべりしてみませんか？

- 日 時：7月4日から 毎週木曜日 13時～15時
- 場 所：市立福祉センター（五條市新町3丁目3-2）
- 開催回数：12回程度
- 定 員：20名
- 内 容：手話初級講座
- 指 導 者：五條市手話サークルまほろば
- 参 加 費：無料
- 申込締切：平成25年6月27日（木）
- 申込み先：五條市社会福祉協議会 ☎0747-24-4152

ご寄付いただき ありがとうございました

（敬称略） 平成25年1月16日～平成25年5月15日 （単位：円）

福祉基金

金 額	氏 名	住 所	摘 要
2,000	佐 竹 康 成	滝町741	拾得交付金

善意銀行

金 額	氏 名	住 所	摘 要
6,892	五條市介護保険事業所協議会		新年互礼会会費残金
10,000	J Aならけん北宇智支店女性部	住川町655	地域福祉のために
60,000	生蓮寺和讃講	二見7丁目4-7	寒行浄財
10,000	J Aならけん西吉野支店女性部	西吉野町和田422-2	地域福祉のために
16,841	西吉野北部ほほえみ会		地域福祉のために
3,592	匿 名		地域福祉のために

福祉基金…積み立てられた預金の利子を地域福祉の向上の活動資金として役立てます。
善意銀行…皆さんの善意を災害見舞金など市民の福祉向上に役立てます。

社会福祉協議会への 苦情・ご意見・ご要望をお聞きます

私たちは、住民の皆さまからの声をもとに、よりよいサービスが提供できるよう心がけています。

どうぞお気軽にご相談ください（☎0747-24-2200）

■苦情受付担当者：植村 和明

■苦情解決責任者：達本 千賀子

■第 三 者 委 員：真喜屋 浩一、山本 博巳

（第三者的な立場から苦情解決のお手伝いをします）



ふれあいネットワーク



発行／社会福祉法人五條市社会福祉協議会

〒637-0043 奈良県五條市新町3丁目3-2

TEL 0747-24-4152

FAX 0747-24-4153